

令和2年2月21日（金）

沖縄県医師会からの呼びかけ(第2報)

令和2年2月21日現在、沖縄県内において3名の新型コロナウイルス感染症患者が発生しています。

沖縄県医師会では、令和2年2月15日に県内の専門家会議を開催し、現時点までの情報をもとに以下のことを呼び掛けることに致しました。

1. 今回の病気は飛沫感染と、汚染した手・指で食事をしたり鼻や目の粘膜に触れたりしてうつると考えられています「接触感染」。そのため、手洗いは極めて大切であります。こまめに手洗いをしましょう。また、顔に触れたりすることを可能な限り避けましょう。
2. せきエチケットの徹底
3. 健康な多くの人にとっては、通常は風症状を認めるものとされており、数日後に自然に治ることも多いと言われております。
4. 一方、慢性疾患のある方や高齢者の中には重症化することも見られるようであり。このような方々をいかに守るかが今回の重要な要点です。
5. 中国武漢での状況を見るに医療機関での院内感染対策が最重要の課題であります。そのため以下のことを強く呼び掛けます。
 - 1) 日常的にお薬を飲んでおられる方は、主治医と相談の上で、流行期に受診しなくてもすむよう長期処方を検討してもらいましょう。
 - 2) 普段健康な方が発熱等の風邪症状を発症した際には、通常の風邪症状の状態であれば、家で安静にしてください。急いで受診することは控えてください。院内感染を防ぐため重要です。
 - 3) 37.5度以上の発熱が4日以上続く方、または強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある方は、新型コロナウイルス感染症相談窓口（098-866-2129）にご相談ください。
 - 4) 受診する際には必ずマスクをしてください。また、受付で発熱していると告げてください。※その他医療機関から示された受診時の注意事項に従ってください。
 - 5) 健康に不安のある方や妊婦、乳幼児は可能な限り人ごみを避けてください。
6. 市中感染の状況になる恐れがあるため、多くの人が集まるイベントは当面開催を自粛することをお願いします。
7. 入院患者への家族以外の面会は控えて下さい。家族におかれましても風邪症状のある場合は病院訪問、面会はお控え下さい。

医療を守ることが県民を守ることです。県民に冷静であることを呼び掛けます。